

夢のような間がある居場所

第三の居場所

川棚警察署に程近い住宅街の一角。レンガ調のレトロな建物の中から、楽しそうな声が響いてくる。そこは家でも学校でもない、第三の居場所。子どもも大人も心から笑って過ごせる、そんな居心地の良い空間づくりは、オープンを目前に大詰めを迎えていた。

話題の中心

人前に出るのが苦手で、いつも母から離れなかった幼少期。「ピアノが友達だった」と言うほど、家ではずっと鍵盤を叩いていた。小学校高学年になった時、三学年下の妹が不登校になったのをきっかけに、周囲の人は皆、自分の顔を見るや否や、妹を気遣う話題ばかりになる。もちろん自分だって妹のことは心配。でも自分のことを無視されているような気持ちになり、それを妹に当たってしまふ。そんな自分がまた嫌になる。この負のループから抜け出すため、遂には学校へ行かなくなった。

不登校からの皆勤賞

一年半程の不登校生活を経験するも、じつと家にいたわけではない。地元の手話サークルで手話を学び始めると、幼児向けクラスで教える側に立つほどに上達し、通訳などのボランティア活動にも参加。中学校進学のタイミングで「自分でも驚くほどすんなり行けたことを皮切りに学校での毎日が一気に楽しくなり、三年間皆勤賞。ボランティアの仲間や手話サークルなど、落ち着く場所がたくさんあったことが大きな支えとなった。この経験から、「子ども達には色々な居場所の選択肢があつた方がいい」という想いが芽生え、現在の活動に繋がっている。

大道芸との出会い

高校では「JRC(ジュニアレッドクロス)部」の部長を務め、募金や献血の呼びかけなどの活動を行う他、全国大会への出場や他校の生徒との合宿を自ら企画するなど、勉強以外にも多くを学んだ。「自分の世

界をもっと広げたい」と、愛知県福祉大学へ進学。そこで人をたちまち笑顔に変える大道芸に魅了される。練習したことをボランティア先で披露するうちに、すぐにイベント出演などの声がかかり始め、卒業後はジャグリングパフォーマーとして世界を股にかけ活躍。有名テーマパークや万博会場ヨーロッパやアジアのストリートでも多くの観客を集めた。

この先は母として

28歳の時、パフォーマー仲間と結婚。出産後も、海外のパフォーマー達の多くがそうであるように、仕事をしながら家族も一緒に国内外を旅することに憧れがあった。しかし生まれてきた我が子は環境の変化にかなり敏感で、新しい人や場所慣れるまでに時間を要するタイプ。あちこち転々とする生活にはとても

対応できない。パフォーマー人生十年、もう十分にやりきった。この先は母として、全力で子育てをしよう。

受け皿探し

二年前からは二人の子を連れてシングルマザーとなり、多忙な毎日を送る。学校生活にうまく馴染めない我が子達のため、家以外にもどこかに居場所がないか探すも見つからない。年々増加する不登校児数に対し、この地域にはそんな子ども達の受け皿がまだ少なかった。代わりに見つけたのは、同じ悩みを抱えた複数の親子達。仕事や勉強の遅れなどを危惧し不安になる。そんな親の顔を見て、学校へ行けない自分を責める子どもは、どんどん疲弊していく。このままでは明るい未来を思い描けるはずがない。みんなが有りのままの自分を受け入れてもらえて、親も子も元気になる場所を。無いならば作る、私たちの手で。

心の安定基地

集まった仲間と共に、一般社団法人かわたな夢キッズを立ち上げた二年の準備期間を経て遂にオープンするこの場所の名は、「自由楽校 ゆめまある」。

「まある」。時間・空間・仲間・隙間・瞬間という、「夢のような間がある居場所」になるようお願いを込めた。子ども達の心が回復し、自分のやりたいことを見つけ、自信を持つて社会へ羽ばたいていけるよう、私達が架け橋になりたい。そして社会へ出た後も、頑張り過ぎて疲れた時は、また羽根を休ませに戻つてくればいい。いつでもおかえりと迎えてあげられる、心の安定基地でありたい。「このプロジェクトには多くの子ども達が自ら関わってくれている。その頼もしい姿が私をまた前へ押しつけてくれる」。地域の理解を得ながら継続していくために、課題はまだ山ほどあるがこれからここで生まれるたくさんのお話を思うと、ワクワクが止まらない。



一般社団法人 かわたな夢キッズ 代表

なほ さん

【Information】

自由楽校 ゆめまある 2024年6月7日 OPEN

場所: 東彼杵郡川棚町百津郷41-69

・見学会 5/26(日) 10:00~14:00

・体験会 6/4(火)・5(水)・6(木) 10:00~14:00

※詳細は Instagramをご確認ください

【Instagram】kawatana.yume.kids



女性はこの世の中の「花」だから。

はなはなが伝えたい想いです。このページを読み終えたあなたが一人の女性としてあなたの場所で咲くエネルギーになったらと願っています。

ライター Mizuki 福岡出身、佐世保歴23年目のほぼ佐世保人。カフェで働きながら一人娘の育児に奮闘中!

